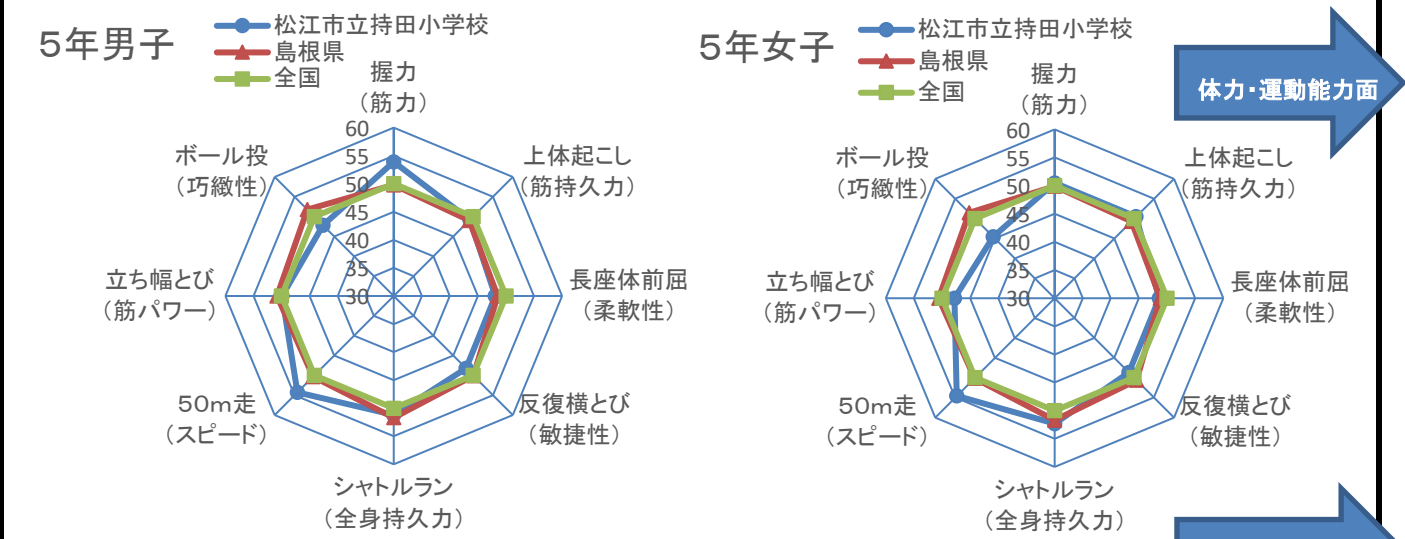
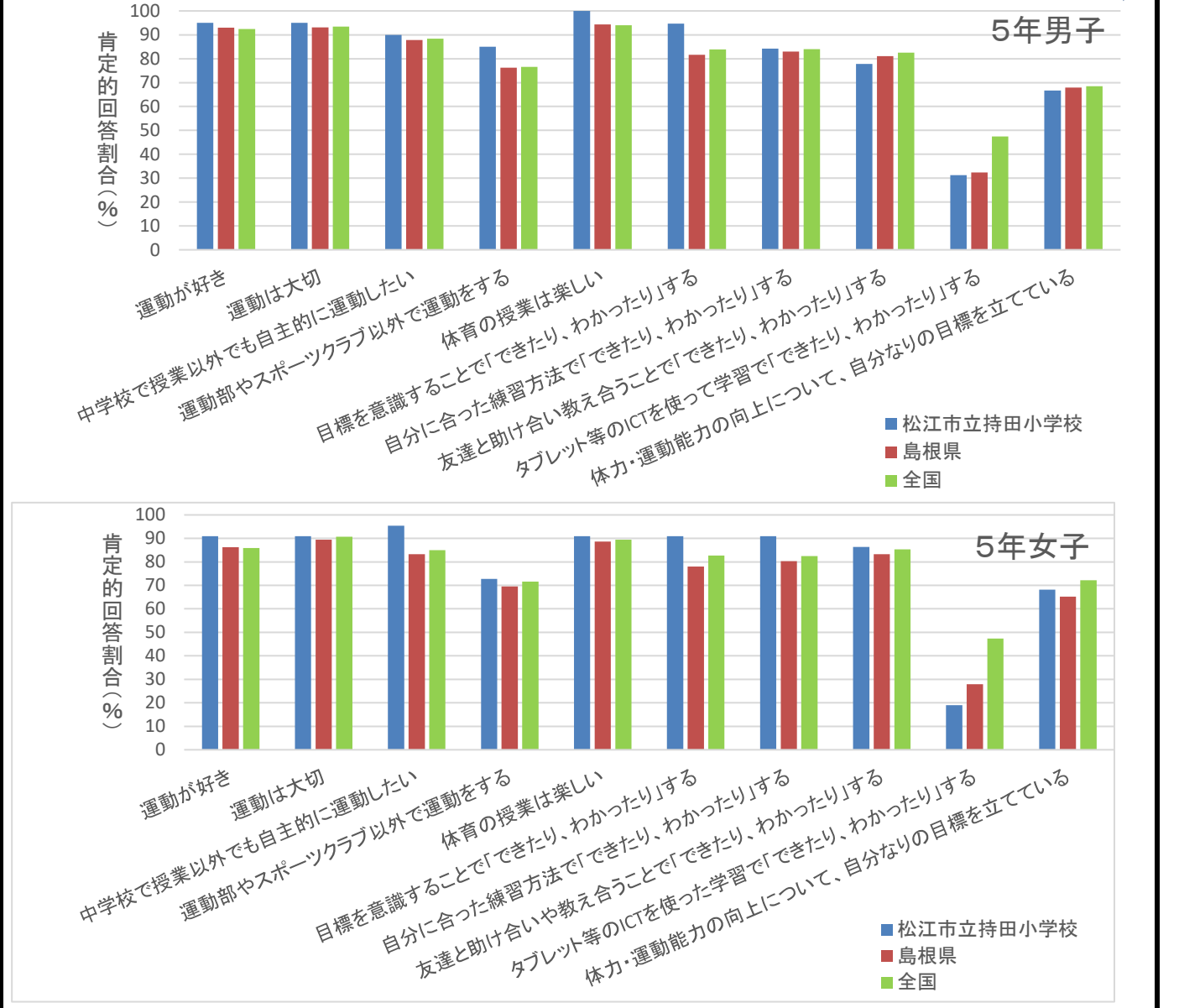


松江市立持田小学校

(1) 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

	握力(筋力)	上体起こし(筋持久力)	長座体前屈(柔軟性)	反復横とび(敏捷性)	シャトルラン(全身持久力)	50m走(スピード)	立ち幅とび(筋パワー)	ボール投(巧緻性)
男子	3.9	-0.8	-1.9	-1.8	1.2	4.3	-0.1	-2.2
女子	0.5	0.5	-1.4	-1.3	2.3	4.6	-2.2	-4.6

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】
弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

	運動が好き	運動は大切	中学校で授業以外でも自主的に運動したい	運動部やスポーツクラブ以外で運動をする	授業は楽しい	目標を意識することでできたりわかったりする	自分に合った練習方法でできたりわかったりする	友達と助け合い教え合いでできたりわかったりする
男子	2.6	1.6	1.6	8.4	6.0	10.8	0.2	-4.7
女子	5.0	0.2	10.4	1.1	1.4	8.2	8.4	1.1

タブレット等のICTを使った学習でできたりわかったりする
体力・運動能力の向上について自分なりの目標を立てている

男子	-16.2	-1.8
女子	-28.4	-4.0

【-7%以上】 【-7~-3%】 【-3~0%】 【0~3%】 【3~7%】 【7%以上】
弱み ← → 強み

(3) 令和5年度の方針【学校全体での取組】

- ① 体力向上や体育授業に関する校内研修会等の計画について
- ・年度当初の職員会議にて持田小学校の児童の体力状況について、全職員で周知できるようにする。
 - 本校の運動課題が「巧緻性」「筋持久力」であることを確認、取り組んでいくべき運動について話し合う。
 - ・夏季休業中に、R4体力運動能力調査結果を元に、改めて持田小児童の運動課題を確認し、2学期から取り組んでいく運動を計画する。
 - ・冬季休業中に、2学期の運動の取組についてふり振り返り、各学年の取組を紹介し合う。
- ② 体育科授業の工夫・改善について
- ・年度当初の職員会議にて、持田小児童の体力状況について共通理解するだけでなく、体育の授業で「全校で取り組んでいきたい運動」について説明、共通理解する。
 - ・ICT活用について課題が見られるので、積極的な活用を呼びかける。
- ③ 体育授業以外の活動の工夫について
- ・スポーツ委員会主催のスポーツ大会を計画し、運動に親しむ機会を充実させる。
 - ・マラソン、鉄棒、登り棒などについて「強化週間」を設定し、休憩時間にも体力向上を図る。
- ④ 家庭・地域、近隣の学校・園等との連携、情報発信について
- ・長期休業中に取り組める運動カードを作成し、挑戦できるようにする。
 - ・高の杜学園での情報交換の継続。